



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社
 コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 尾西 輝昭 TEL 078-303-5921
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月7日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 53,915 | △2.1 | 1,249 | △60.4 | 1,558 | △55.6 | 1,406 | △33.5 |
| 2022年3月期 | 55,074 | — | 3,152 | △27.0 | 3,506 | △25.6 | 2,115 | △37.9 |

(注) 包括利益 2023年3月期 1,541百万円 (△2.8%) 2022年3月期 1,586百万円 (△57.7%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 49.09 | — | 2.0 | 2.0 | 2.3 |
| 2022年3月期 | 71.03 | — | 3.0 | 4.2 | 5.7 |

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円
 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。比較対象となる会計処理方法が異なるため、2022年3月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 78,862 | 68,514 | 86.9 | 2,407.06 |
| 2022年3月期 | 80,136 | 69,634 | 86.9 | 2,389.39 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 68,514百万円 2022年3月期 69,634百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 3,414 | △250 | △2,666 | 13,275 |
| 2022年3月期 | 5,101 | △3,330 | △2,867 | 12,778 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | 22.00 | — | 23.00 | 45.00 | 1,333 | 63.4 | 1.9 |
| 2023年3月期 | — | 23.00 | — | 23.00 | 46.00 | 1,315 | 93.7 | 1.9 |
| 2024年3月期(予想) | — | 23.00 | — | 23.00 | 46.00 | | 119.0 | |

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 27,200 | 3.4 | 50 | △90.6 | 150 | △78.7 | 100 | △81.6 | 3.51 |
| 通期 | 55,800 | 3.5 | 1,300 | 4.0 | 1,550 | △0.5 | 1,100 | △21.8 | 38.65 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 30,050,759株 | 2022年3月期 | 30,050,759株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | 1,586,964株 | 2022年3月期 | 907,524株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 28,654,344株 | 2022年3月期 | 29,781,950株 |

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

(参考) 個別業績の概要（日本基準）

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 51,984 | △2.4 | 1,312 | △57.8 | 1,611 | △53.5 | 1,478 | △30.0 |
| 2022年3月期 | 53,260 | — | 3,106 | △30.1 | 3,463 | △28.0 | 2,113 | △41.9 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 51.60 | — |
| 2022年3月期 | 70.96 | — |

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、当該基準適用前の2022年3月期の売上高の実績値に対する増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 79,331 | 68,632 | 86.5 | 2,411.23 |
| 2022年3月期 | 80,493 | 69,719 | 86.6 | 2,392.29 |

(参考) 自己資本 2023年3月期 68,632百万円 2022年3月期 69,719百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (会計方針の変更) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (1株当たり情報) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |
| 4. 補足情報 | 13 |
| (1) 販売の状況 | 13 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和されたものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰が依然として収まらず、景気の下振れリスクを抱えた状態が続きました。

食品業界では、値上げが繰り返され、企業は生活者の消費マインドが低下する中で厳しい経営の舵取りを迫られました。

このような環境の中、当グループにおきましては、“ニュー・フジッコ”の経営改革に沿って、ブランド価値の強靱化、DXの準備等に取り組みました。

売上高は、デザート製品と惣菜製品は好調に推移しましたが、これら以外の製品群が減収となり、539億15百万円（前期比2.1%減）となりました。

利益面では、原材料・エネルギーコストの上昇や減収等により、営業利益は12億49百万円（前期比60.4%減）、経常利益は15億58百万円（前期比55.6%減）、兵庫県西宮市の土地の売却等による特別利益の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は14億6百万円（前期比33.5%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、全体で前年実績を上回りました。日配惣菜は、子会社の株式会社フーズパレットが中華惣菜店舗の販売を伸ばしました。フジッコNEWデリカ株式会社は上期の苦戦が響き、通期では前年実績に届きませんでした。取引先開拓や製品導入を進めて10月以降は前年同月を上回る傾向で推移しました。包装惣菜は、「おぼんざい小鉢 彩りあん厚あげ」の新発売やプロモーションの強化で伸ばしました。

昆布製品は、主力のカップ佃煮が「生姜こんぶ」のカラーレシピ提案や30代から40代のトライアル獲得を狙ったTVCM等のプロモーションを実施し好調に推移しましたが、塩こんぶ、とろろ昆布、だし昆布は前年実績を下回りました。カップ佃煮は、サステナビリティ課題への取り組みから生昆布を使用した「ふじっ子煮MIRAI」シリーズを開発し、販売をスタートしました。

豆製品は、煮豆市場のダウントレンドと水煮・蒸し豆の苦戦により、前年実績を下回りました。この状況を打開するため「体がよるこぶ Everyday Beans!」戦略を展開し、その一環として、毎日の食生活で豆を手軽に美味しく食べていただけるよう、2月に「おまめさん」のTVCMを放映いたしました。

ヨーグルト製品は、健康意識の高まりや巣ごもり需要で好調に推移した前期からの反動減で前年実績を下回りました。11月から12月にかけては、購買促進を狙って「家族と話したくなるヨーグルト“あのね”が聞こえる朝ごはんキャンペーン」を実施いたしました。3月には、「まるごと大豆のヨーグルト」を「まるごとSOYカスピ海ヨーグルト」としてリニューアルしました。カスピ海ヨーグルトのノウハウを活かし、よりまるやかでクリーミーかつふくよかな大豆風味をお楽しみいただけます。

デザート製品は、フルーツセラピーシリーズの新販路開拓が寄与し、販売を伸ばしました。需要刺激策として、11月に期間限定の「フルーツセラピー ゆず～レモン果肉入り～」を発売し、2月から3月にかけて発売20周年の果汁増量企画を実施いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末の総資産は、株主還元、資本効率を意識した自己株式の取得等を進めたことにより、前連結会計年度末に比べ12億73百万円減少し、788億62百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億33百万円増加し、333億10百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却に伴う現金及び預金の増加や商品及び製品の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ27億7百万円減少し、455億52百万円となりました。これは主に、固定資産の減価償却が進んだことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円減少し、84億7百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、19億40百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億20百万円減少し、685億14百万円となりました。これは主に、自己株式の取得と配当金の支払によるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末と同じ86.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加し、132億75百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益を20億88百万円、減価償却費を36億39百万円の計上、法人税等12億47百万円の支払い等により、34億14百万円の収入（前連結会計年度は51億1百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得と売却等により、2億50百万円の支出（前連結会計年度は33億30百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出や配当金の支払等により、26億66百万円の支出（前連結会計年度は28億67百万円の支出）となりました。

<ご参考>キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 83.6 | 84.3 | 83.2 | 86.9 | 86.9 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 80.5 | 71.9 | 68.6 | 70.2 | 66.9 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | 1.5 | 1.6 | 1.4 | 0.3 | 0.5 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 3,644.1 | 2,616.4 | 8,812.5 | 5,582.8 | 51,107.9 |

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

国内経済は、ウィズコロナの中、各種政策の効果もあって持ち直していくことが期待されますが、足下の物価高などの難局が続く、先行き不透明な状況で推移するものと思われま。

食品業界におきましては、原材料・エネルギーコストの上昇により、収益が圧迫される厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況下、当グループにおきましては、“お客様の『価値ある時間』に貢献”という長期的な事業ビジョンのもと理念経営を実践し、次期（2024年3月期）においては開発力と営業力の強化に一層注力してまいります。業績回復に向けては、値上げ後の物量アップが課題になります。

製品分類別の主な取り組みは、次のとおりであります。

惣菜製品は、日配惣菜においてフジッコNEWデリカ株式会社の取引先開拓と株式会社フーズパレットの百貨店事業のブランド力強化に取り組み、収益性向上を目指します。包装惣菜は、「おぼんざい小鉢」と「おかず畑」サラダシリーズのマーケティングを強化しシェア拡大に努めるとともに、株式会社フーズパレットの冷凍中華惣菜の拡販に注力します。

昆布製品は、昆布の食文化を親から子、子から孫へと受け継ぎ、どの世代の食卓にも佃煮や塩こんぶ等の昆布製品が登場するよう、時流に適したメニュー提案やデジタルマーケティングを強化し、世代LOOPを生み出す仕掛けづくりに取り組みます。

豆製品は、新商品開発や各種施策を通じて新たな豆の食シーンを創造し、豆類の喫食機会の底上げを進めてまいります。

ヨーグルト製品は、リニューアルした「まるごとSOYカスピ海ヨーグルト」の販売拡大や新たな商品開発に取り組めます。

デザート製品は、季節に応じてフルーツセラピーの期間限定品を投入し、需要を刺激してまいります。

その他製品は、通販チャンネルの「クロクロ」「善玉菌のチカラ」の新規顧客獲得、豆由来の健康素材「フジフラボン」の飲料メーカー向け提案等を強化してまいります。

以上により、次期の連結業績予想は、売上高558億円（前期比3.5%増）、営業利益13億円（前期比4.0%増）、経常利益15億50百万円（前期比0.5%減）、前期に特別利益として計上した固定資産売却益がなくなり、親会社株主に帰属する当期純利益は11億円（前期比21.8%減）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当グループは、収益性の向上と財務体質の強化に努め、着実に業績を向上させ、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを最重要課題のひとつとしております。当面の配当方針につきましては、配当性向40%以上の維持を目標とし、株主の皆様のご期待に報いるよう努力してまいります。

内部留保資金につきましては、利益ある成長に繋がる研究開発投資、設備投資等に充てたいします。

当期の期末配当金につきましては、2023年5月12日開催の取締役会決議により1株につき23円とすることといたしました。すでに、2022年12月2日に実施済みの中間配当金1株当たり23円と合わせまして、年間配当金は前期に比べて1円増配の46円、連結での配当性向は93.7%となります。

これまで、不確実な時代に生き残るため、“ニュー・フジッコ”の経営改革に継続して取り組んでまいりました。改革期間には、株主還元政策として、増配並びに自己株式の消却、新たな取得を併せて実施いたしました。今は想定以上の原材料・エネルギーコストの増加等があり、厳しい業績が続いておりますが、次期の年間配当金につきましては、当期と同じ1株につき年間46円（中間23円、期末23円）の普通配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,778 | 13,275 |
| 売掛金 | 8,901 | 9,003 |
| 商品及び製品 | 1,145 | 1,380 |
| 仕掛品 | 245 | 238 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,499 | 8,979 |
| その他 | 308 | 434 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 31,877 | 33,310 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 42,576 | 41,968 |
| 減価償却累計額 | △25,386 | △25,601 |
| 建物及び構築物 (純額) | 17,189 | 16,366 |
| 機械装置及び運搬具 | 31,954 | 32,170 |
| 減価償却累計額 | △20,586 | △22,224 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 11,367 | 9,945 |
| 工具、器具及び備品 | 2,302 | 2,238 |
| 減価償却累計額 | △1,698 | △1,646 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 603 | 591 |
| 土地 | 13,190 | 12,769 |
| 建設仮勘定 | 46 | 49 |
| 有形固定資産合計 | 42,398 | 39,723 |
| 無形固定資産 | 356 | 567 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,611 | 3,432 |
| 繰延税金資産 | 692 | 583 |
| その他 | 1,206 | 1,250 |
| 貸倒引当金 | △5 | △5 |
| 投資その他の資産合計 | 5,504 | 5,261 |
| 固定資産合計 | 48,259 | 45,552 |
| 資産合計 | 80,136 | 78,862 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,547 | 3,962 |
| 未払金 | 2,956 | 3,292 |
| 未払法人税等 | 701 | 40 |
| 未払消費税等 | 356 | 92 |
| 賞与引当金 | 483 | 464 |
| 預り金 | 78 | 73 |
| その他 | 453 | 481 |
| 流動負債合計 | 8,577 | 8,407 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,150 | 1,121 |
| 従業員株式給付引当金 | 38 | 33 |
| その他 | 735 | 786 |
| 固定負債合計 | 1,924 | 1,940 |
| 負債合計 | 10,502 | 10,348 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,566 | 6,566 |
| 資本剰余金 | 1,006 | 1,006 |
| 利益剰余金 | 62,873 | 62,948 |
| 自己株式 | △1,728 | △3,058 |
| 株主資本合計 | 68,717 | 67,462 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 957 | 1,053 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △40 | △2 |
| その他の包括利益累計額合計 | 916 | 1,051 |
| 純資産合計 | 69,634 | 68,514 |
| 負債純資産合計 | 80,136 | 78,862 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 55,074 | 53,915 |
| 売上原価 | 36,935 | 38,185 |
| 売上総利益 | 18,139 | 15,730 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,986 | 14,480 |
| 営業利益 | 3,152 | 1,249 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 204 | 199 |
| 受取賃貸料 | 66 | 59 |
| 売電収入 | 49 | 55 |
| その他 | 85 | 61 |
| 営業外収益合計 | 406 | 375 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 賃貸費用 | 24 | 25 |
| 売電費用 | 21 | 34 |
| その他 | 5 | 6 |
| 営業外費用合計 | 52 | 66 |
| 経常利益 | 3,506 | 1,558 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 110 | 708 |
| 投資有価証券売却益 | 521 | 126 |
| 国庫補助金等収入 | 65 | 45 |
| 特別利益合計 | 696 | 880 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 440 | 180 |
| 投資有価証券売却損 | — | 32 |
| 減損損失 | 636 | 137 |
| 特別損失合計 | 1,077 | 350 |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,126 | 2,088 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,298 | 631 |
| 法人税等調整額 | △287 | 49 |
| 法人税等合計 | 1,010 | 681 |
| 当期純利益 | 2,115 | 1,406 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,115 | 1,406 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 2,115 | 1,406 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △556 | 96 |
| 退職給付に係る調整額 | 26 | 38 |
| その他の包括利益合計 | △529 | 134 |
| 包括利益 | 1,586 | 1,541 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,586 | 1,541 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|----------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------------|--------------|---------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 6,566 | 7,499 | 62,291 | △6,898 | 69,458 | 1,513 | △67 | 1,446 | 70,905 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,292 | | △1,292 | | | | △1,292 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,115 | | 2,115 | | | | 2,115 |
| 自己株式の取得 | | | | △1,575 | △1,575 | | | | △1,575 |
| 自己株式の消却 | | △6,493 | △242 | 6,735 | — | | | | — |
| 株式給付信託による自己株式の処分 | | | | 11 | 11 | | | | 11 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | △556 | 26 | △529 | △529 |
| 当期変動額合計 | — | △6,493 | 581 | 5,170 | △741 | △556 | 26 | △529 | △1,270 |
| 当期末残高 | 6,566 | 1,006 | 62,873 | △1,728 | 68,717 | 957 | △40 | 916 | 69,634 |

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|----------------------|-------|-------|--------|--------|--------|--------------|--------------|---------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 6,566 | 1,006 | 62,873 | △1,728 | 68,717 | 957 | △40 | 916 | 69,634 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,331 | | △1,331 | | | | △1,331 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,406 | | 1,406 | | | | 1,406 |
| 自己株式の取得 | | | | △1,335 | △1,335 | | | | △1,335 |
| 株式給付信託による自己株式の処分 | | | | 5 | 5 | | | | 5 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | 96 | 38 | 134 | 134 |
| 当期変動額合計 | — | — | 75 | △1,330 | △1,254 | 96 | 38 | 134 | △1,120 |
| 当期末残高 | 6,566 | 1,006 | 62,948 | △3,058 | 67,462 | 1,053 | △2 | 1,051 | 68,514 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 3,126 | 2,088 |
| 減価償却費 | 3,698 | 3,639 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △0 | △0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △57 | △19 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 12 | 25 |
| 受取利息及び受取配当金 | △204 | △199 |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 固定資産処分損益 (△は益) | 330 | △528 |
| 減損損失 | 636 | 137 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △521 | △93 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 283 | △102 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △878 | △709 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △60 | 497 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △740 | 223 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 807 | △271 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | △72 | △4 |
| その他 | △68 | △219 |
| 小計 | 6,291 | 4,462 |
| 利息及び配当金の受取額 | 204 | 199 |
| 利息の支払額 | △0 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △1,393 | △1,247 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,101 | 3,414 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,922 | △1,493 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 459 | 1,123 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △80 | △285 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △26 | △17 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 676 | 428 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △128 | — |
| その他 | 692 | △6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,330 | △250 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △1,575 | △1,335 |
| 配当金の支払額 | △1,291 | △1,330 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,867 | △2,666 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,096 | 496 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,874 | 12,778 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 12,778 | 13,275 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2021年11月15日開催の取締役会決議に基づき、当連結会計年度において、自己株式681,900株の取得を行いました。この取得に基づく自己株式の増加額は1,335百万円であります。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売している単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,389.39円 | 2,407.06円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 71.03円 | 49.09円 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

- 2 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益金額算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。

前連結会計年度の当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は91千株、期末株式数は89千株であります。また、当連結会計年度の当該信託口が保有する当社株式の期中平均株式数は88千株、期末株式数は86千株であります。

- 3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 2,115 | 1,406 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 2,115 | 1,406 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 29,781 | 28,654 |

- 4 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度末 (2022年3月31日) | 当連結会計年度末 (2023年3月31日) |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 69,634 | 68,514 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 69,634 | 68,514 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普 通株式の数(千株) | 29,143 | 28,463 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

| 製品分類 | 前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日) | | 当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日) | | 増減額 |
|---------|--|--------|--|--------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 惣菜製品 | 18,551 | 33.7% | 18,625 | 34.5% | 73 |
| 昆布製品 | 14,500 | 26.3% | 14,422 | 26.8% | △78 |
| 豆製品 | 10,515 | 19.1% | 9,969 | 18.5% | △546 |
| ヨーグルト製品 | 6,908 | 12.5% | 6,430 | 11.9% | △477 |
| デザート製品 | 2,446 | 4.5% | 2,578 | 4.8% | 131 |
| その他製品 | 2,152 | 3.9% | 1,890 | 3.5% | △262 |
| 合計 | 55,074 | 100.0% | 53,915 | 100.0% | △1,159 |

(注) 増減額は、当連結会計年度と前連結会計年度との比較で表示しております。